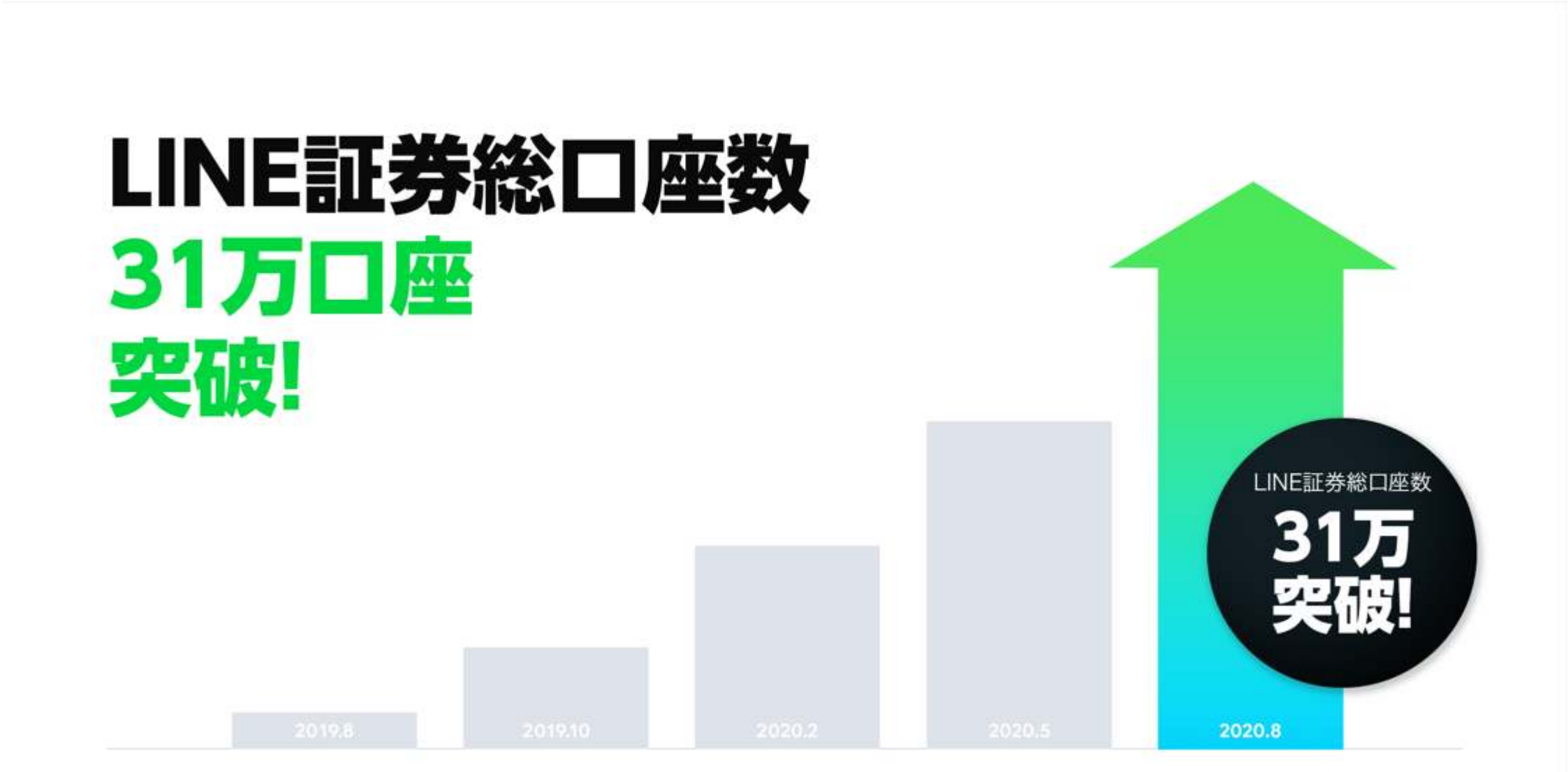


「LINE証券」、サービス開始1年で31万口座を突破！ 20代投資家が選ぶ“スマホ利用で使いやすい”など 3部門でネット証券No.1を獲得！

2020.09.29 Fintech関連サービス

「いちかぶ（単元未満株）」の取扱銘柄数を1,000銘柄へ大幅拡大し、野村ホールディングスとの初の連携サービス「iDeCo」を2021年に提供予定

LINE証券株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役Co-CEO：落合 紀貴・米永 吉和）は、スマホ投資サービス「LINE証券」において、2019年8月のサービス開始から1年で、口座開設数31万口座を突破いたしましたので、お知らせいたします。併せて、株式会社ショッパーズアイが実施したネット証券大手9社を対象としたインターネット調査^{*1}において、20代投資家が選ぶ「スマホ利用で使いやすい」と20代兼業投資家が選ぶ「本格的なのにシンプル」、「いま注目の証券会社」と思うネット証券にてNo.1となり、3冠を獲得いたしましたので、お知らせいたします。



■サービス開始1年で31万口座を突破、2022年100万口座を目指す

「LINE証券」は、2019年8月のサービス開始以来、「LINE」が持つ豊富なユーザーベースとテクノロジー、および、スマートフォンに適したユーザビリティの高いデザインと、野村グループが培ってきた金融ビジネスのノウハウを活かしながら、「新しい総合証券サービスの提供」に努めてまいりました。2019年8月より1株単位で取引ができる「いちかぶ（単元未満株）」、2019年11月より投資信託、2020年3月よりFX取引サービス「LINE FX」、2020年5月より取引所取引（現物取引・信用取引）の取扱いと、わずか1年にも満たない期間で株式取引に関するサービスについてフルラインナップを取り揃えてまいりました。直近では、2020年6月より「投資信託のつみたて投資」の提供など、お客さまのニーズに寄り添いながらサービスラインナップを拡充しております。

また、開催日の終値から最大7%OFFで購入できる「株のタイムセール」や簡単なクイズに正解すると最大3株分の購入代金がもらえる「初株チャンス」キャンペーンといった、ユーザーに楽しんで資産運用に触れていただけるような取り組みを実施することで、個人投資家の皆さまから多くのご支持をいただき、この度31万口座を突破するに至りました。今後は、2022年に100万口座を目指し、サービス拡大をしてまいります。

■“スマホ利用で使いやすい” ネット証券など3部門でNo.1を獲得！

「LINE証券」はこの度、株式会社ショッパーズアイが実施したネット証券大手9社を対象としたインターネット調査^{*1}において、20代投資家が選ぶ「スマホ利用で使いやすい」と思うネット証券と20代兼業投資家が選ぶ「本格的なのにシンプル」、「いま注目の証券会社」と思うネット証券にてNo.1となり、3冠を獲得いたしました。LINE証券は、サービス開始当初より、スマホに最適化したサービスとして、サービスの拡充を進めてまいりました。1株単位の取引から、現物取引（100株単位）、信用取引など、従来のスマホに特化した証券サービスにはない商品ラインナップを取り揃えることで、投資初心者だけでなく、投資経験者からもご支持いただいております。

ネット証券No.1



■今後の展開

2年目に突入する「LINE証券」は、大きく変化していきます。サービス開始当初から提供している、「いちかぶ（単元未満株）」の取扱銘柄数を、10月5日（月）より300銘柄から1,000銘柄へ大幅に拡大します。この度の1,000銘柄への拡大により、「単元未満株取引」のリアルタイム約定の取扱銘柄数はNo1^{*2}となり、時価総額ベースで国内株式^{*3}の88%をカバーいたします。「いちかぶ（単元未満株）」の取引を活用しながら、現物取引（100株単位）の本格的な取引をするなど、ご自身の取引スタイルに合ったポートフォリオをこれまで以上に自由に組むことができます。

さらに、2021年には野村ホールディングスとの初の連携サービスとして、「iDeCo」（個人型確定拠出年金）の提供開始^{*4}を予定しております。8400万人が日々利用する「LINE」でiDeCo（個人型確定拠出年金）の申し込みが可能になることで、「貯蓄から投資へ」を促進し、長期的な投資にも寄り添ってまいります。

「LINE証券」は今後も、“投資をもっと身近に、もっと手軽に”をミッションのもと、投資初心者はもちろん、現物取引（100株単位）や信用取引、「LINE FX」といった段階を踏み、「LINE証券」と共に成長していただいた後も継続してご利用いただけるよう、ユーザーに寄り添ったサービスラインナップを充実させてまいります。また、「LINE」を当たり前のように「LINE証券」を当たり前に使っていただくような日常を実現するべく、ユーザーに寄り添った新しい総合ネット証券のスタンダードを目指してまいります。

■「LINE証券」1周年の軌跡

詳細はこちら：<https://line-sec.co.jp/contents/1stanniversary.html>

LINE証券 1st Anniversary

20代投資家を選ぶ「スマホ利用で使いやすい」
ネット証券No.1

LINE証券は2020年8月20日に開業1周年を迎えました。
今後も、“投資をもっと身近に、もっと手軽に”をミッションに、
「働く世代」に寄り添ったサービスラインナップをさらに充実させ、
ユーザーの生活に溶け込んだ新しい総合証券サービスを目指してまいります。

※ネット証券10サービスを対象としたサイト比較イメージ調査より、ショッパーズアイ社調べ(2020年07月時点)。



GROWTH

LINE証券総口座数 31万口座 突破!



国内株式月間売買代金

**980億
円超**

(2020年8月)



店頭FX月間売買代金

**2.4兆
円超**

(2020年8月)



ネット証券No.1



20代投資家を選ぶ





株式取引サービスにおいてフルラインナップが完了



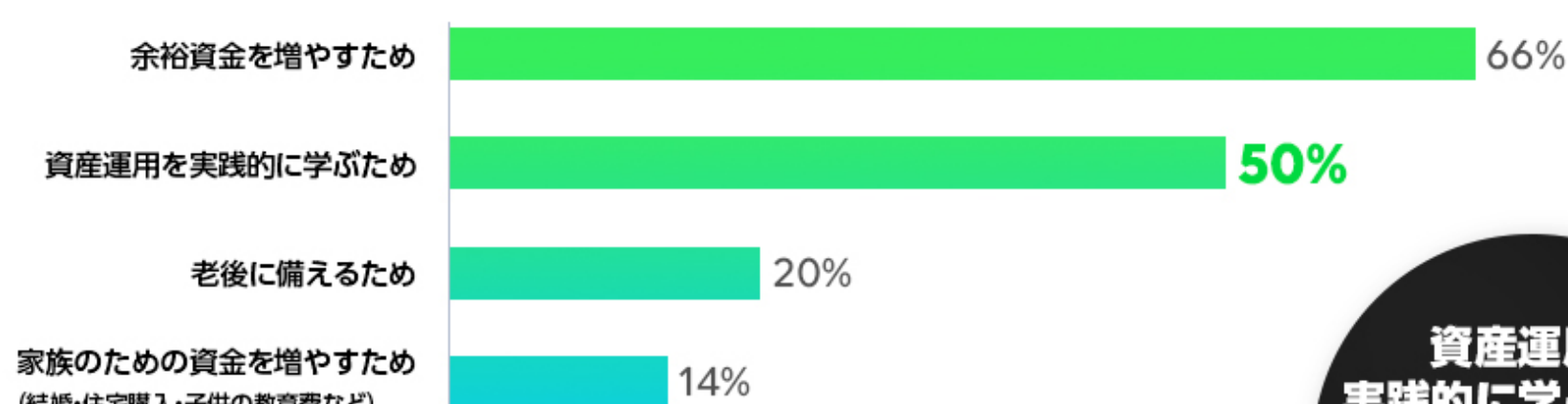
USER

口座開設者は

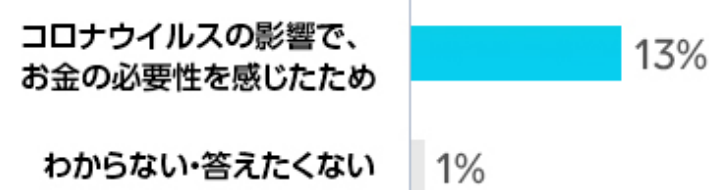


※ 出典:[LINE]証券の口座属性データはLINE調べによるもの(2020年5月時点)

LINE証券を始めた目的は?



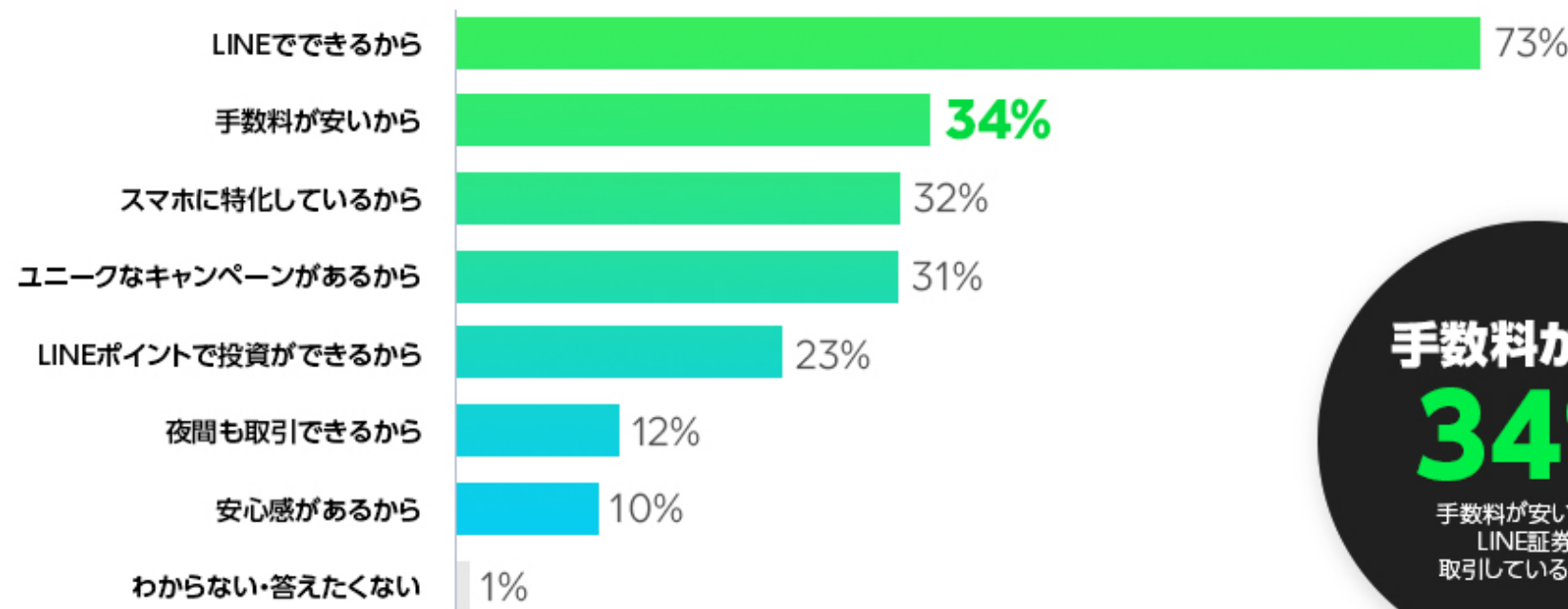
資産運用を
実践的に学ぶために



始めた人が
50%

※2020年8月実施 ユーザーアンケートより抜粋

LINE証券で取引をしている理由は？



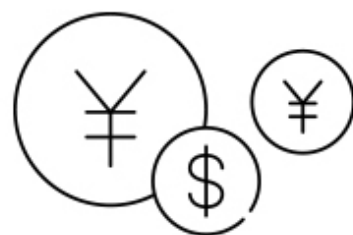
手数料が安い
34%

手数料が安いことが
LINE証券で
取引している理由に

※2020年8月実施 ユーザーアンケートより抜粋

LINE証券で投資を 始めた時の金額は？

5万円以上から投資を
始めたは、49%以上
年間で60万円以上
投資していることに



LINE証券での 運用成績は？

運用成績がプラスに
なっている人は
73%



投資に回すお金は 給与のどれくらい？

給料の2割以下で
投資をしている人が
60%



※2020年8月実施 ユーザーアンケートより抜粋

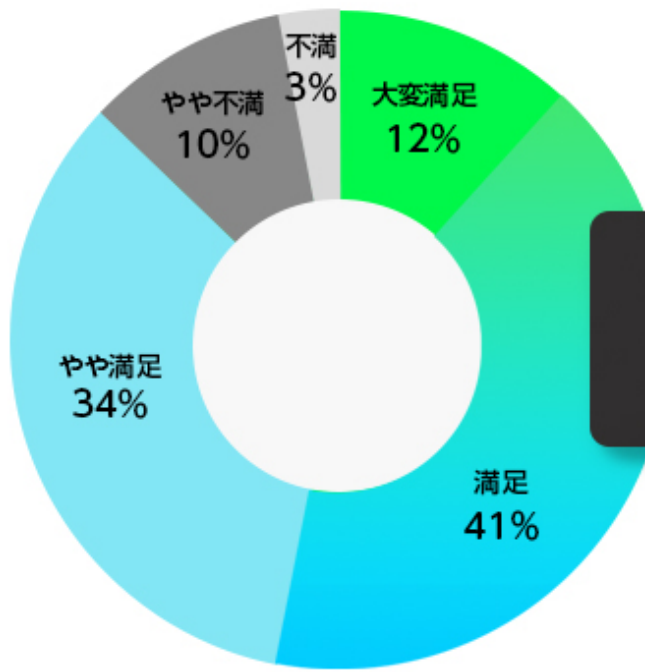
USER VOICE

初心者ですが気軽に始められると思い、やってみて思ったよりも
分かりやすく取引がしやすいと思って継続しています。

還元率3%でポイントを貯め、LINE証券へポイントで入金して株を
買っています。元がポイントなら精神的負担も少なく投資ができます。

基本は100株単位で売買しているが、
買えない額の銘柄は1株単位で売買してます。

LINE証券の満足度



87%が満足できると回答

※2020年8月実施 ユーザーアンケートより抜粋

*1：

■調査概要

調査方法：インターネット調査

調査期間：2020 年 7 月 22 日～27 日

調査概要：ネット証券 10 サービスを対象にしたサイト比較イメージ調査

調査対象：1,534 名、男女、20～29 歳、投資意向者、投資経験者、証券口座開設者、金融業界従事者

調査実施：株式会社ショッパーズアイ

比較対象企業：ネット証券大手 9 社

*2：単元未満株式のリアルタイム約定ができるOne Tap Buy、CONNECTと当社を比較。2020年9月18現在、LINE証券調べ）

*3：第一部・第二部・マザーズ・TOKYO PRO Market・JASDAQスタンダード・JASDAQグロース合計（2020年7月31日現在）

*4：開始時期は予定であり、変更になる可能性があります。

■LINE証券サービストップ画面：<https://trade.line-sec.co.jp/>

■LINE証券株式会社コーポレートサイト：<https://line-sec.co.jp/corp>

■LINE公式アカウント：LINE ID：@linesec

■公式サイト：<https://line-sec.co.jp/>

■公式Twitter：https://twitter.com/linesec_jp

■公式note：https://note.mu/line_sec

■LINE証券株式会社の概要

(1) 名称 LINE証券株式会社

(2) 所在地 東京都品川区西品川一丁目1番1号 住友不動産大崎ガーデンタワー22階

(3) 代表者 代表取締役Co-CEO落合 紀貴（LINE株式会社）、米永 吉和（野村證券株式会社）

(4) 事業内容 資産形成層をターゲットとした非対面証券ブローカレッジおよび非対面証券投資コンサル ティングサービスの提供等

(5) 資本金及び資本準備金 400億円（2020年4月10日時点）

(6) 設立年月日 2018年6月1日

ご注意事項

当社でのお取引にあたっては、各商品毎に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。

国内株式等※の相対取引は、市場価格に取引コストを適用した価格でお取引いただきます。

国内株式等の取引所取引は、売付の場合、約定代金に対して最大1,771円（税込み）の取引手数料をご負担いただきます。買付の場合、取引手数料はかかりません。なお、電話による受注の場合は約定代金に対して最大5,500円(税込み)の取引手数料をご負担いただきます。詳細についてはLINE証券の取引ルールをご確認ください。

国内株式等の信用取引にあたって取引手数料はかかりません。ただし、電話による受注の場合は約定代金に対して最大5,500円(税込み)の取引手数料をご負担いただきます。また、別途管理費および名義書換料をご負担いただきます。加えて、買付の場合、買付代金に対する買い方金利を、売付けの場合、売付け株券等に対する貸株料および品賃料をご負担いただきます。詳細についてはLINE証券の取引ルールをご確認ください。

投資信託のお申込み（一部の投資信託はご換金）にあたっては、購入手数料（換金時手数料）はかかりません。また、換金時に直接ご負担いただく費用として、換金時の基準価額に対して最大0.5%の信託財産留保額をご負担いただく場合があります。投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用として、国内投資信託の場合には、信託財産の純資産総額に対する運用管理費用（信託報酬）（最大2.09%（税込み・年率））のほか、運用成績に応じた成功報酬をご負担いただく場合があります。また、その他の費用を間接的にご負担いただく場合があります。外国投資信託の場合も同様に、運用会社報酬等の名目で、保有期間中に間接的にご負担いただく費用があります。なお、上記記載の手数料等の費用の最大値は今後変更される場合があります。

※「国内株式等」とは、国内株式、国内ETF、国内ETN、国内REIT、国内インフラファンド等、東京証券取引所に上場している商品のうち、当社が取り扱う商品を指します。

金融商品のお取引においては、株価の変動、為替その他の指標の変動等により損失が生じるおそれがあります。

国内株式は株価の変動により損失が生じるおそれがあります。また、国内ETFおよび国内ETNは連動する指数等の変動により損失が生じるおそれがあります。国内REITは運用する不動産の価格や収益力の変動により損失が生じるおそれがあります。国内インフラファンドは運用するインフラ資産等の価格や収益力の変動により損失が生じるおそれがあります。

国内株式等の信用取引は、一定の委託保証金を当社に担保として差し入れ、差し入れた委託保証金を上回る取引を行うことができます。委託保証金は、約定代金の33%以上で、かつ30万円以上の金額が必要です。信用取引では、委託保証金の約3倍までのお取引を行うことができるため、株価の変動等により委託保証金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある資産を投資対象としています。投資信託の基準価額は、組み入れた資産の取引価格の変動や為替の変動等により上下するため、これにより損失が生じるおそれがあります。

お取引に際しては、契約締結前交付書面および目論見書等の内容をよくお読みください。

金融商品取引業者 LINE証券株式会社 関東財務局長（金商）第3144号

加入協会/日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会

